

松尾コーヒー株式会社

長崎県長崎市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

コーヒー、チョコレート伝来の地“出島” を活かしたコーヒーと新感覚の新しいコー ヒーの提案

- コーヒー、チョコレートが初めて伝来した地“出島”の歴史性・ストーリーを活かした商品づくり
- “出島”とコーヒー、チョコレート等の『長崎事始め』を組み合わせた商品で長崎観光をPR
- コーヒー豆をチョコレートでコーティングした、新感覚の食べるコーヒー「ビーンズしょくらあと」の提案

企業基本情報

所在地	長崎県長崎市市場町 1302 番地
電話 / FAX	095-824-1450/095-821-5240
U R L	http://www.matsuo-coffee.co.jp/
代表者	代表取締役 松尾 彰
設立	1984年
資本金	1,500万円
従業員数	10人 (パート含む)



会社概要

長崎市市場町に本社・工場を、長崎県庁付近でカフェを併設し、コーヒー豆の小売を行う「松尾珈琲店」を経営。自社工場でコーヒー豆の焙煎加工を行い、カフェやホテル、レストラン等に卸しているほか、コーヒー豆をチョコレートでコーティングした菓子「ビーンズしょくらあと」を開発・製造し、交通・観光施設の売店等へ卸している。また、全国の百貨店での催事にも積極的に出向いて販売を行っている。今後は、海外（東南アジア、アメリカ）への販路開拓も視野に入れる。



松尾珈琲店の店舗外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ “出島”の歴史性・ストーリーを活かす商品づくりで付加価値向上に注力

長崎の「出島」は日本におけるコーヒーとチョコレート発祥の地であり、同社では、その歴史的背景を活かした商品開発を行なっている。また、江戸時代、出島で飲まれていたと伝わるインドネシア原産アラビカ種のコーヒー豆を使用した「長崎出島阿蘭陀珈琲」や幕末時代、長崎で活躍した坂本龍馬をイメージしてブレンドした「長崎龍馬珈琲」を製造・販売するなど、コーヒーに長崎の歴史をブレンドすることで商品の付加価値向上に注力している。



出島で飲まれていたと伝わる種豆を使用した「長崎出島阿蘭陀珈琲」

▶▶▶ 長崎初伝来の資源を組み合わせた商品づくりで長崎の観光PRに努める

コーヒーとチョコレートは、県の地域産業資源の指定を受けていないものの、いずれも鎖国時代、西洋から初めて長崎に持ち込まれ、その後、全国に広まっていったものである。同社では、これらと長崎との関わりをPRするために、観光や交通施設、また、東京の長崎県のアンテナショップなどで販売を行い、長崎土産としての定着を図っている。県外の催事等で来場者に長崎の観光地の写真が掲載されたサンプルを配布して、長崎観光をPRしている。



ワールドヘリテージ
コーヒー 1P (軍艦島・グラバー園)

▶▶▶ 新感覚の食べるコーヒー菓子「ビーンズしょくらあと」の提案を行う

同社は、新たな提案として、江戸時代に日本人が初めて飲んだといわれるインドネシア原産アラビカ種のコーヒー豆を同社で焙煎し、1粒の豆をまるごとチョコレートでコーティングした食べるコーヒー菓子「ビーンズしょくらあと」を開発・販売している。この菓子は、県の特産品コンテストの菓子・スイーツ部門で最優秀賞を受賞した。また、県産の茶葉を使用し、コーヒー豆と茶葉でコラボした菓子を業界で初めて考案するなど、革新的な商品づくりにもチャレンジしている。



新感覚の食べるコーヒー菓子
「ビーンズしょくらあと」